

授業科目名	医療管理各論Ⅲ		科目コード	201031		
開講クラス	診療情報管理士科	コース	コース	学 年	2年	
担当教員	非常勤講師		実務経験教員 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )			
	実務経験内容 診療情報管理士 病院勤務 診療情報管理士としての業務経験を活かし、医療機関にとって重要である医療安全管理と医療の質の管理について理解させる授業を行う					
開講時期	前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	30時間		
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必修		単 位 数	1単位		
使 用 テキスト 1	書 名	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ				
	著 者	一般社団法人日本病院会				
	出版社	株式会社日本病院共済会				
使 用 テキスト 2	書 名	診療情報管理士教育問題集 専門課程編				
	著 者	一般社団法人日本病院会				
	出版社	株式会社日本病院共済会				
参考図書						
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習					
<授業の目的・目標> ・ 質の高い安全な医療を提供するためには、医療安全管理と医療の質管理は、極めて重要である。医療事故を未然に防止すること、事故後の適切な対応が医療安全活動の本質といわれ、2015年に始まった医療事故調査制度に医療の安全を確保するために医療事故の原因究明と再発防止を行うことを目的としている						
<授業の概要・授業方針> ・ 医療の質の安全も医療安全と密に関連し、診療情報管理士はそれらの本質を理解することが求められる。DPC/PDPS や NDB など診療報酬請求制度におけるデータ活用は、医療の質や経営の質のみならず病院の将来を決定する計画策定のための重要指標となる。診療情報管理業務が拡大する中で、必要な基礎知識を深め、その対応力を備えられるようになる						
<成績基準・評価基準> ・ 成績基準 優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：59点以下 ・ 評価基準 ①小テスト、授業態度、提出物：20% ②期末試験：80%						
<使用問題集・注意事項>						
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他> ・ 関連科目 「医療事務」、「医師事務作業補助」						

授業科目名		医療管理各論Ⅲ
回	授 業 内 容	備 考
1	安全管理（セーフティマネジメント）	
2	①医療安全概論	
3	医療安全概論	
4	②医療におけるリスクマネジメント	
5	医療におけるリスクマネジメント	
6	③ヒューマンエラー	
7	ヒューマンエラー	
8	④医療事故と医療過誤、医事紛争	
9	医療事故と医療過誤、医事紛争	
10	医療事故と医療過誤、医事紛争	
11	確認テスト	
12	医療の質管理	
13	①医療の質を保証	
14	②チーム医療における診療情報共有	
15	③医療の質マネジメントシステム	
16	医療の質マネジメントシステム	
17	④医療の質の評価と公表	
18	医療の質の評価と公表	
19	医療の質の評価と公表	
20	医療の質の評価と公表	
21	確認テスト	
22	診療情報管理における診療報酬請求データの活用	
23	①医療マーケティング	
24	医療マーケティング	
25	②診療情報管理におけるデータの活用	
26	③電子カルテデータ、オーダデータと医事会計システム	
27	④診療情報管理データと医事会計データ	
28	確認テスト	
29	まとめ	
30	まとめ	